

浮世絵動物園

前期 2022年7月30日（土）～8月28日（日） 後期 2022年9月2日（金）～9月25日（日）

※ 所蔵は記載のあるもの以外太田記念美術館です。

※ 期間中展示替えをおこないます。塗りつぶし部分が各作品の展示期間となります。 ①前期 7/30～8/28・②後期 9/2～9/25

※ 展示スケジュールは、作品の状態、その他やむを得ぬ事情により変更されることがあります。

	絵師名	作品名	年代	版型	①	②
1	鈴木春信	猫に蝶 展示期間（※展示期間7月30日～8月14日）	明和2～7年（1765～70）頃	中判		
2	月岡芳年	風俗三十二相 うるささう 寛政年間処女之風俗	明治21年（1888）3月	大判		
3	勝川春章	子猫に美人図	安永9～天明3年（1780～83）頃	絹本着色1幅		
4	月岡雪鼎	髪すき図	天明6年（1786）	絹本着色1幅		
5	歌川広重	名所江戸百景 浅草田圃西の町詣	安政4年（1857）11月	大判		
6	喜多川歌麿	針仕事	寛政6～7年（1794～95）頃	大判3枚続の		
7	月岡芳年	歌川国芳肖像	明治6年（1873）	紙本淡彩1幅		
8	鈴木春信	風流五色墨 素丸	明和5～7年（1768～70）頃	中判		
9	北尾重政	美人戯猫図	天明5年（1785）	絹本着色1幅		
10	豊原国周	見立昼夜廿四時之内 午後八時	明治24年（1891）1月	大判		
11	鈴木春信	水仙花	明和5年（1768）頃	中判		
12	歌川国貞	当世俳優戯画競 三代目市川門之助 猫抱く女	文政年間（1818～30）中期頃	大判		
13	小林清親	カンヴァスに猫	明治13年（1880）	横大判		
14	梅堂小国政	猫	明治24～34年（1891～1901）頃	団扇絵判		
15	歌川国芳	御奥の弾初	嘉永2～4年（1849～51）	大判3枚続		
16	礫川亭永理	犬と立美人図	寛政～文化年間（1789～1818）頃	絹本着色1幅		
17	歌川豊国	春の愁	寛政5～6年（1793～94）頃	絹本着色1幅		
18	楊洲周延	時代かゞみ 文化之頃 洗場がへり	明治29年（1896）9月	大判		
19	溪斎英泉	当世好物八契 草双紙	文政6年（1823）頃	大判		
20	葛飾北斎	狛	天保4年（1833）	団扇絵判		
21	溪斎英泉	契情道中双録 岡部 尾張屋内系にし 見立よしわら五十三つみ	文政7～8年（1824～25）頃	大判		
22	鈴木春信	鶏と男女	明和4～5年（1767～68）頃	中判		
23	歌川国貞（三代豊国）	二丑四好今様美人 金魚好	文久3年（1863）12月	大判		
24	魚屋北溪	花園番続 鶯舌梅	文政5～6年（1822～23）頃	色紙判摺物		
25	歌川国貞	星の霜当世風俗 水汲み	文政2年（1819）頃	大判		
26	歌川広重	名所江戸百景 高輪うしまち	安政4年（1857）4月	大判		
27	歌川国芳	東都名所 両国柳ばし	天保3～4年（1832～33）頃	横大判		
28	歌川広景	江戸名所道外尽 吉 日本橋の朝市	安政6年（1859）5月	大判		
29	歌川広重	東海道四十四 五十三次 四日市 無間道	嘉永4年（1851）	横大判		
30	葛飾北斎	富嶽三十六景 駿州大野新田	天保1～4年（1830～33）頃	大判		
31	歌川広重	東海道五拾三次之内 大津 走井茶店	天保4年～7年（1833～36）頃	横大判		
32	歌川国芳	山海名産尽 相模ノ堅魚	天保1～2年（1830～31）頃	大判		
33	河鍋暁斎	東海道 高縄牛ごや	文久3年（1863）5月	大判		
34	葛飾北斎	富嶽三十六景 隅田川関屋の里	天保1～4年（1830～33）頃	大判		
35	葛飾北斎	諸国瀧廻り 和州吉野義経馬洗滝	天保4年（1833）頃	大判		
36	歌川広重	名所江戸百景 四ッ谷内藤新宿	安政4年（1857）11月	大判		
37	歌川広重	木曾海道六拾九次之内 拾九 軽井沢	天保7～8年（1836～37）頃	横大判		
38	歌川芳形	東海道 桑名	文久3年（1863）	大判		
39	歌川芳形	東海道 藤沢	文久3年（1863）4月	大判		
40	歌川芳虎	東海道 箱根 畑	文久3年（1863）6月	大判		
41	二代歌川広重	隅田川八景 白髭落馬	文久1年（1861）11月	大判		
42	小林清親	鶏にトンボ	明治13年（1880）10月	横大判		
43	歌川豊春	浮絵熊野浦鯨突之図	明和6年～安永年間（1769～81）頃	横大判		
44	二代歌川広重	諸国名所百景 若狭かれみを制す	安政6年（1859）	大判		
45	歌川広重	東都洲崎の汐干	安政2年（1855）正月	団扇絵判		
46	歌川広重	名所江戸百景 びくにはし雪中	安政5年（1858）10月	大判		
47	歌川国貞	江戸自慢 仲の町灯籠	文政1～3年（1818～20）頃	大判		
48	歌川国貞	浄瑠璃つくし 傾城恋飛脚 梅川忠兵衛 新口村の段	文政12年（1829）頃	大判		
49	歌川国貞（三代豊国）	江戸名所百人美女 東本願寺	安政4年（1857）11月	大判		
50	歌川国貞（三代豊国）	江戸名所百人美女 葉げんぼり	安政5年（1858）3月	大判		
51	歌川国貞（三代豊国）	梨園侠客伝 御所の五郎蔵	元治1年（1864）4月	大判		
52	歌川国貞（三代豊国）	近世水滸伝 鬼神の於松 坂東志うか	文久2年（1862）閏8月	大判		
53	歌川国貞（三代豊国）	近世水滸伝 成田の新蔵 河原崎権十郎	文久1年（1861）	大判		
54	歌川国貞（三代豊国）	梨園侠客伝 朝比奈藤兵衛	文久3年（1863）6月	大判		
55	歌川国貞（三代豊国）	近世水滸伝 競力富五郎 中村芝翫	文久1年（1861）6月	大判		
56	溪斎英泉	今様美人拾二景 気がかるそう 両国橋	文政5～6年（1822～23）頃	大判		
57	歌川国貞	雲の峰	天保1～4年（1830～33）頃	団扇絵判		
58	歌川国貞	浮世人精天眼鏡 団扇	天保7～13年（1836～42）頃	大判		
59	歌川国貞	風流花暦 女郎花	文政12年～天保2年（1829～31）頃	大判		
60	溪斎英泉	当世好物八契 手紙	文政6年（1823）頃	大判		
61	月岡芳年	古今比売鑑 薄雲	〈個人蔵〉 明治8～9年（1875～76）頃	大判		
62	鳥高齋栄昌	扇屋見世略 はしたて あやこし はなひと	寛政3～10年（1791～98）頃	大判3枚続		
63	磯田湖龍斎	江戸色里八景 品川の帰帆	安永1～3年（1772～74）頃	中判		
64	鈴木春信	蚊帳の内外	明和5～6年（1768～69）頃	中判		
65	歌川国貞（三代豊国）	十二月ノ内 弥生 雛祭	安政1年（1854）4月	大判3枚続		
66	月岡芳年	月百姿 弓取の数に入るさの身となればおしまざりけり夏夜月 明石儀太夫	明治23年（1890）4月	大判		
67	歌川豊国	三代目坂東三津五郎 七代目市川団十郎	文化11年（1814）	色紙判		
68	歌川国貞	女用十二手箱ノ内 硯箱	文政12年～天保2年（1829～31）頃	大判		
69	歌川広重	浄るり町繁花の図 せうちう屋	嘉永5年（1852）8月	大判		
70	歌川豊国	雪見八景 ばんしやう	文政1～8年（1818～25）	大判		
71	歌川国貞（三代豊国）	雪月花の内 花曇	弘化4年～嘉永3年（1847～50）頃	大判3枚続		
72	鈴木春信	やつし費長房	明和2年（1765）	摺物		
73	溪斎英泉 歌川国貞 歌川国芳	宝船	天保15年（1844）頃	大判3枚続		
74	歌川広重	名所江戸百景 簀輪金杉三河しま	安政4年（1857）閏5月	大判		
75	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州梅沢左	天保1～4年（1830～33）頃	横大判		

76	菊川英山	御祭礼兒童遊び	文化8～11年 (1811～14)	大判3枚続
77	歌川広重	名所江戸百景 深川万年橋	安政4年 (1857) 11月	大判
78	歌川広重	東海道五拾三次之内 宮 熱田神事	天保4年～7年 (1833～36) 頃	横大判
79	北尾重政	江口の君図	寛政1～10年 (1789～98) 頃	絹本着色1幅
80	葛飾北斎	青面金剛	天明年間 (1781～89) 頃	錦絵 45.3×
81	歌川国芳	木菟に春駒	文政後期～天保初期 (1826～32) 頃	間判
82	森光親	厄病除鬼面蟹写真	制作年不詳	大判
83	作者不詳	地震のすちやらか	安政2年 (1855) 頃	大判
84	作者不詳	世直し鯨の情	安政2年 (1855) 頃	大判
85	作者不詳	瓢箪	安政2年 (1855) 頃	横大判
86	作者不詳	面白くあつまる人が寄たかり世が直るとてよろこべる形	安政2年 (1855) 頃	大判
87	作者不詳	駄鳥	文政～文久 (1818～1864) 頃	間判
88	落合芳幾	猛虎之写真	万延1年 (1860) 7月	大判
89	歌川貞秀	生写異国人物 魯西亞人 飼羅紗羊之図	万延1年 (1860) 11月	大判
90	葛飾北斎	北斎漫画十三編	嘉永2年 (1849) 頃	半紙本1冊
91	歌川芳豊	中天竺馬爾加国出生 新渡舶来大象之図	文久3年 (1863) 2月	大判
92	河鍋暁斎	天竺渡来大評判 象の戯遊	文久3年 (1863) 4月	大判
93	楊洲周延	世界第一チャリネ大曲馬ノ図	明治19年 (1886) 9月	大判3枚続
94	歌川広重	浅草奥山 貝細工 猿に鶏	文政3年 (1820)	大判
95	歌川広重	浅草奥山 貝細工 鶴に兎	文政3年 (1820)	大判
96	葛飾北斎	麦藁細工図	文政3年 (1820)	大判4枚続の
97	歌川広重	猿 鹿	天保3～6年 (1832～35) 頃	中短冊判二丁
98	喜多川歌麿	『蘇詞夷』猿回し	寛政1年 (1789)	大本1帖
99	葛飾北斎	雨中の虎	嘉永2年 (1849)	絹本着色1幅
100	歌川広重	牡丹に蝶	天保3～4年 (1832～33) 頃	間判
101	歌川広重	あやめに翡翠	天保3～6年 (1832～35) 頃	中短冊判
102	歌川広重	菖蒲に白鷺	天保3～6年 (1832～35) 頃	大短冊判
103	歌川広重	雪中椿に雀	天保3～6年 (1832～35) 頃	大短冊判
104	歌川広重	雪中蘆に鴨	天保3～6年 (1832～35) 頃	大短冊判
105	歌川広重	月に兎	嘉永2～4年 (1849～51) 頃	団扇絵判
106	菊川英山	虎図	文化5～6年 (1808～09) 頃	縦大判2枚続
107	葛飾北斎	遊亀	寛政12年 (1800)	大奉書全紙判
108	歌川広重	鮎	天保7～12年 (1836～41) 頃	横大判
109	小原古邨	鷹と温め鳥	明治38～45年 (1905～12) 頃	大短冊判
110	月岡芳年	月百姿 むさしのゝ月	明治24年 (1891) 1月印刷	大判
111	歌川国芳	里すゞめねぐらの仮宿	弘化3年 (1846)	大判3枚続
112	歌川国芳	蝦蟇手本ひやうきんぐら 三段目・四段目	弘化4年 (1847) 頃	中判2丁掛
113	歌川国芳	蝦蟇手本ひやうきんぐら 七段目・八段目	弘化4年 (1847) 頃	中判2丁掛
114	歌川国芳	流行三ッびやうし	弘化4年 (1847) 頃	大判
115	歌川貞秀	蛸踊り	天保10年 (1839)	団扇絵判
116	落合芳幾	諸鳥芸づくし	安政6年 (1859) 9月	大判
117	歌川芳藤	廓通色々青楼全盛	慶応3年 (1867) 6月	大判3枚続
118	歌川芳藤	しん板猫のたわむれ踊のをさらみ	明治1～10年 (1868～77) 頃	大判
119	歌川芳虎	新板ねこの手ならひ師匠	慶応1年～明治6年 (1865～73) 頃	大判
120	歌川芳藤	しん板猫のあきんどづくし	明治1年 (1868) 8月	大判
121	三代歌川広重	円窓雑画	明治1～27年 (1868～94) 頃	紙本墨画
122	奥村政信	鼠の相撲	正徳年間 (1711～16) 頃	大々判丹絵
123	作者不詳	鼠の相撲	安永9年 (1780)	摺物
124	磯田湖龍齋	鼠の嫁入り	安永9年 (1780)	摺物
125	四代歌川国政	しん板ねづみのたわむれ	明治15年 (1882) 11月	大判
126	歌川広重	東都飛鳥山の図 王子道狐のよめ入	天保7～12年 (1836～41) 頃	大判3枚続
127	歌川芳藤	兎の相撲	明治6年 (1873) 3月	大判3枚続
128	歌川広景	青物魚軍勢大合戦之図	安政6年 (1859) 10月	大判3枚続
129	作者不詳	桃太郎と金太郎	慶応4年/明治1年～明治2年 (1868～69) 頃	大判2枚続
130	鳥居清倍	二代目市川団十郎の竹ぬき五郎 三升屋助十郎の曾我十郎	享保2年 (1717) 2月	大判
131	月岡芳年	新撰東錦絵 於富与三郎話	明治18年 (1885) 12月	大判2枚続
132	鳥文斎栄之	略三幅対 女三之宮 衣通姫 小野小町	寛政4～10年 (1792～98) 頃	大判3枚続
133	月岡芳年	和漢百物語 将武	慶応1年 (1865) 9月	大判
134	歌川国芳	本朝水滸伝豪傑八百人一個 尾形周馬寛行	天保2年 (1831) 頃	大判
135	歌川国芳	木曾街道六十九次之内 妻籠 安倍保名 葛葉狐	嘉永5年 (1852)	大判
136	歌川国芳	三国妖狐図会 蘇姐己駅堂に被魅	嘉永2～3年 (1849-50)	大判
137	楊洲周延	東錦昼夜競 佐賀の怪猫	明治19年 (1886) 10月	大判
138	歌川芳虎	越中立山の地獄谷に肉芝道人蛙合戦の奇をあらはし良門伊賀寿の両雄に妖術を授く	嘉永5年 (1852) 4月	大判3枚続
139	歌川国貞 (三代豊国)	東駅 (とうかいどう) いろは日記	文久1年 (1861) 7月	大判3枚続
140	歌川国芳	五十三駅 岡崎	弘化4年 (1847) 頃	横大判
141	月岡芳年	月百姿 金時山の月	明治23年 (1890) 10月	大判
142	葛飾北斎	金太郎に驚と熊	寛政1～6年 (1789～94) 頃	大判
143	歌川国芳	木曾街道六十九次之内 望月 怪童丸	嘉永5年 (1852) 6月	大判
144	月岡芳年	月百姿 吼囂	明治19年 (1886) 1月	大判
145	歌川広景	江戸名所道戯尽 十六 王子狐火	安政6年 (1859) 6月	大判
146	歌川広重	名所江戸百景 王子装束の木大晦日の狐火	安政4年 (1857) 9月	大判
147	月岡芳年	東京開化狂画名所 墨堤三囲社 野狐の愉快 / 招魂社 馬かけ名人	明治14 (1881) 1月	中判2丁掛
148	歌川広景	江戸名所道戯尽 三 浅草反甫の奇怪	安政6年 (1859) 正月	大判
149	歌川広重	獅子の児落し	天保3～6年 (1832～35) 頃	大短冊
150	歌川広重	龍	天保3～6年 (1832～35) 頃	大短冊
151	歌川芳員	將軍太郎良門藝ノ術ヲ以て相馬の内裏を顕し 亡父の栄花を見せ父のあだをほふぜんと士卒をはけまし 軍評定の図	嘉永5年 (1852) 3月	大判3枚続
152	歌川芳艶	破奇術頼光袴垂為搦	安政5年 (1858) 4月	大判3枚続
153	歌川国芳	源頼家公鎌倉小壺ノ海遊覧 朝夷義秀雌雄罽を捕ふ図	弘化1～3年 (1844～46) 頃	大判3枚続
154	落合芳幾	東京日々新聞 六百九十七号 度会県下志摩の国 甲賀の浦に罽すみて	明治7年 (1874)	大判
155	作者不詳	電光の図説 豊年魚	慶応2年 (1866) 6月	中判2丁掛
156	歌川芳虎	家内安全ヲ守十二支之図	安政5年 (1858) 6月	大判
157	歌川芳員	東海道五十三次内 大磯 をだはらへ四り	嘉永6年 (1853) 9月	四ツ切判

